

開催日時 : 2023 年 1 月 7 日(土) 13:30~18:20

開催場所 : ハイブリッド会議

出席者: 赤塚会長、薩本副会長、高村副会長、藤井副会長、東、川端、倉持、重川、杉山、鈴木、高橋、當麻、平林、増渕、松隈、安川、吉川各理事、綾部、今川各監事、潮田オブザーバー

【議案】

第 1 号議案

(1) 入会申込(薩本副会長)

正会員 9 名、学生会員 7 名の入会を、満場一致で承認した。

(2) 永年会員資格者

永年会員資格者 19 名が 2023 年度より永年会員となることを満場一致で承認した。

第 2 号議案 2023 年度代議員総会・第 75 回大会

(1) 2023 年度代議員総会議案書

1) 代議員総会議案書(表紙案)(薩本副会長)

議案書案(表紙案)に「日本家政学会の SDGs ポジション・ステートメント」を報告事項 3 として追加することを満場一致で承認した。最終的には、4 月の理事会で改めて確認することとした。

2) 2022 年度本部決算書予測(藤井副会長)

本部財政がひっ迫していると報告があり、原案を満場一致で承認した。

3) 2022 年度総会議案書事業報告・2023 年度事業計画及び理事、部会長、若手の会代表宛事業報告・事業計画作成依頼(薩本副会長)

例年通りに進めていくことを満場一致で承認した。作成は Teams を利用することを満場一致で承認した。

(2) 大会概要・プログラム・ポスター案(高村副会長・潮田実行委員長)

1) 大会テーマ 「家政学の発展と社会貢献」とすることを満場一致で承認した。

2) 大会概要・プログラム

○スポンサーズセミナー 「ランチョンセミナー」へ名称変更することを満場一致で承認した。

○参加費 会員は不課税であり、非会員は税込金額であることを付記し、支払期日は 4 月 30 日までの早期と 5 月支払に分け、5 月支払の場合は加算されること、また、参加費支払は、オンライン手続きのみで懇親会費も含め 1 回で行うことを明記することを満場一致で承認した。

3) ポスター案 案 4 と案 5 を候補とした。文字が入った最終案でポスター案を確定することとした。

(3) シンポジウム・教育講演(高村副会長・潮田実行委員長)

シンポジウムタイトルは「家政学の発展と社会貢献」とすることを満場一致で承認した。

(4) 大会活性化企画(高村副会長)

助成金を最大 33,411 円とすることを満場一致で承認した。

(5) 大会予算(藤井副会長・潮田実行委員長)

大会参加人数を 600 名に見直し懇親会参加人数も見直すこと、アルバイト代を 1,072 円へ変更すること、広告収入や参加者増加を目指し、全体で 100 万円の黒字になるよう予算化することを満場一致で承認した。

(6) 学会誌 74-1 号巻頭掲載大会案内(高村副会長・潮田実行委員長)

大会概要と同様の変更を行うことを満場一致で承認した。

(7) 研究発表要旨の J-STAGE 掲載方法(高村副会長)

J-STAGE には要旨をすべてまとめて 1 ファイルとして掲載し、大会サイトから 1 要旨ごとに検索出来るようにすることを満場一致で承認した。

(8) 研究発表申込受付とプログラム編成・採否の通知(東理事)

例年通りの日程を進めることを満場一致で承認した。

第 3 号議案 2023 年度第 6 回家政学夏季セミナー(高村副会長・高橋理事)

説明の通りすすめることを満場一致で承認した。

第 4 号議案 規程等集の改正(薩本副会長)

(1) 就業規則 事務職員 B の時給を改正することを満場一致で承認した。

第 5 号議案 学会賞・奨励賞授賞者選考(薩本副会長)

投票の結果、満票で学会賞授賞候補者 2 名、奨励賞授賞候補者 2 名の授賞が決定した。

第 6 号議案 功労賞授賞者選考(薩本副会長)

功労賞 1 名を満場一致で承認した。

第 7 号議案 企画・広報委員会

(1) 2023 年度活動助成・支部活動活性化サポート募集要項(高村副会長)

例年通りに進めることを満場一致で承認した。

(2) 部会長の交代(高村副会長)

家政学原論部会・家族関係学部会・被服衛生学部会の部会長交代を満場一致で承認した。

第 8 号議案 情報管理委員会

(1) 役員選挙の web システム導入(高橋理事)

業務の省力化に効果はあるものの、初期投資費用がかかるため、継続審議とすることとした。

(2) 部会活動等の紹介ムービーの HP 掲載(高橋理事)

会長副会長より発信し、全部会が足並みを揃えて掲載すべきか各部会の反応を確認することとした。その上で HP 掲載の方針を理事会で検討することとした。

第 9 号議案 家庭生活アドバイザー資格認定委員会

(1) 2022 年度資格認定試験(藤井副会長)

2022 年度資格認定試験合格者 3 名、1 期生の資格更新者 15 名を満場一致で承認した。

第 10 号議案 その他

(1) 協賛依頼等(薩本副会長)

協賛・後援申請一覧が示され、満場一致で承認した。

【報告】

1. 退会申出者及び会員現況報告(薩本副会長)

退会申出者 29 名と会費未納による特別措置退会候補者 37 名について報告された。

2. 支部関係(各支部長)

各支部より、活動実績および予定が報告された。

3. 国際交流委員会(吉川理事)

第 25 回国際家政学会(IFHE)大会の 12 月号での報告、大会活性化企画に案を提出したことが報告された。

4. 編集委員会(薩本副会長・倉持理事)

(1) 論文の謝辞の扱い(倉持理事)

倫理的観点からダブルブラインド方式を徹底するために執筆要項を改正したことが報告された。

(2) 倫理審査申請書様式 2(倉持理事)

改正したことが報告された。

(3) 学会誌第 74 巻の表紙デザイン(薩本副会長)

74 巻の表紙のデザインが披露された。

(4) 74-3 掲載の物故者追悼文(倉持理事)

編集委員長名で執筆依頼することとした。

5. 家庭生活アドバイザー資格認定委員会(藤井副会長)

活動報告会(10 月 23 日)、更新研修のオンデマンド配信(10 月 24 日~11 月末日)実施が報告された。

6. 特別委員会(東理事)

(1) 日本家政学会 SDGs ポジション・ステートメント特別委員会

第 1 回特別委員会の開催(12 月 20 日)が報告され、5 月の大会で公表することが満場一致で承認された。

7. 生活科学系コンソーシアム(藤井副会長)

「第 14 回生活科学系博士課程論文発表会」発表者募集が報告された。

8. 生活やものづくりの学びネットワーク(川端理事)

「公開フォーラム ものづくり教育再発見」講演会開催(9 月 25 日)が報告された。

9. その他(高村副会長)

高校生向けのジュニア家政学会大会の検討が報告された。

以上